



8/6なぜか一つだけの雲

## 祭りとは？何なのか？

こんにちは。8月も半ば。これが夏です！暑い日が続きますが、そんな灼熱の中の「川西夏まつり」。今年もラジオ中継で行ってきました。毎年思うのは懐かしい方に会うミーティングのような祭りになってます。吉島でお世話になった方々が声をかけてくれるのはありがたいもんです。

そして、今年は地域おこし協力隊の方々が射的コーナーをもうけていました。狩猟免許をゲットしたからとのことで、なかなか大盛況！！町のお祭りに協力隊がブースを出すというのはいいですね！これくらい馴染んできたら、もっと活動がスムーズにいくといいですね～。

さて、この時期はどこもかしこも祭りだらけ。規模の大きさは様々だけど、祭りとは何なのだろうと？よく思うのです。実家にいたときは祭りというのがあまりなかったのです。近所の盆踊りは小学生向け。市が主催の祭りというのはなかった気がします。少なくとも参加した事はないです。

だからか、祭りというのは田舎というか地方の根源的な文化なのだと、、、そんな気がします。祭りに必要な要素、人と場じゃないかな。人は地元の人、顔なじみの人はもちろん、その土地に関係のある人。場とは誰もがつどえる、いわゆるフリーパスな場。この祭りの時だけは、その土地に馴染むためのパスポートはいらないのです。そうやって、昔から人のつどえる場を開拓してきた、一つの文化なのかな？

都会では祭りがないみたいなことを言いましたが、もちろんローカルな祭りはあるわけです。しかし、県＞市＞地区というくくりで、県と市のまつりというのは観光化されていることが多く、地区の祭りというのは、ホントに近所の人しかいないので、地区外の人はずいぶんいないんじゃないかな？おもしろいもので、都会のほうが地区のくくりなら、人付き合いが狭い気がします。

そういうことで、今回の川西夏まつりは人が集まる場をつくるという意味で、まさに祭りとして役目を果たしてるのではないのでしょうか？知り合いばかりではなく、そこに、懐かしい人や、その場でしか見ない人、いつもの人、様々な人が集うだけで、それはそれで祭りなんですね。



## おまけ

片倉小十郎の白石城に行ったら、  
 天守閣が無料開放デーで超ラッキー！  
 小十郎って、たくさんいるらしいです。  
 城の周りに人たくさんいて、  
 人気あるのかと思ったら、  
 みんなポケモンしてた(笑)